

これまでの寄附実績

東京都世田谷区サテライトスペースと中川町地域商社連携事業



事業期間 令和2年度～令和6年度
総事業費 2億2,459万円
寄付金額 1,000万円
寄附企業 (株)旭ダンケ、(株)ハンキ他10社

中川町が、東京都世田谷区下高井戸に設置するサテライトスペース「ナカガワのナカガワ」の運営や、中川町内に新たに創設した「地域商社」に関する事業に取り組みました。ナカガワのナカガワにおける中川町をはじめとする北海道北部の物産の販売体制の構築や連携する日本大学文理学部との包括連携協定の推進に関する事業、(株)中川町地域開発振興公社に公共支援課を設置し、地域商社化をはかることで、移住の促進や特産品の開発が進められました。

地域木材活用事業



事業期間 令和7年度
総事業費 300万円
寄付金額 300万円
寄附企業 北海道エア・ウォーター(株)

中川町の重要な資源の一つである木材の有効活用を図るため、移動式製材機を購入しました。木材生産現場で製材したあと、町内をはじめとする北海道内の木工作家や家具作家に木材を供給するほか、中川町が進める「なかがわスタイルの小屋づくり」に用いる建築材等を地域内で供給することにより、林業、木材産業、ものづくり振興を図りました。



企業の皆様との協働による新たなプロジェクトつくります！
お気軽にご相談ください。



中川町へのふるさと納税はこちらから→

寄附を検討されている企業ご担当者様は、下記までお問い合わせください。

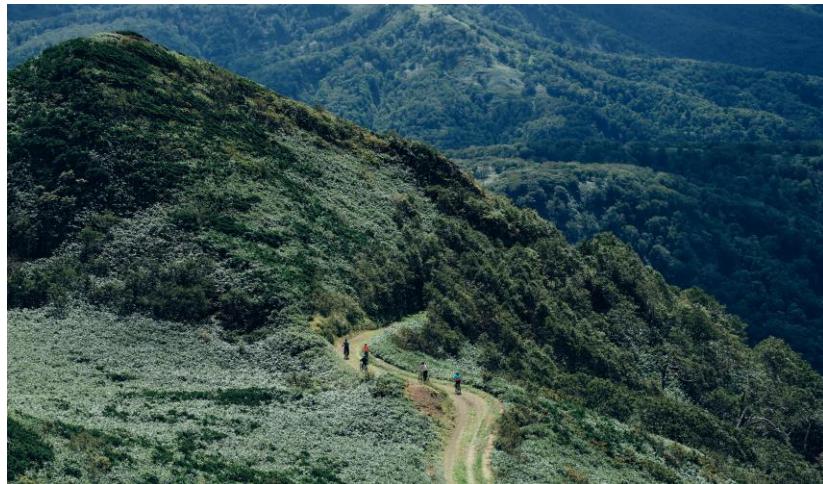
お問合せ先

中川町役場地域振興課地方創生係

電話：01656-7-2819

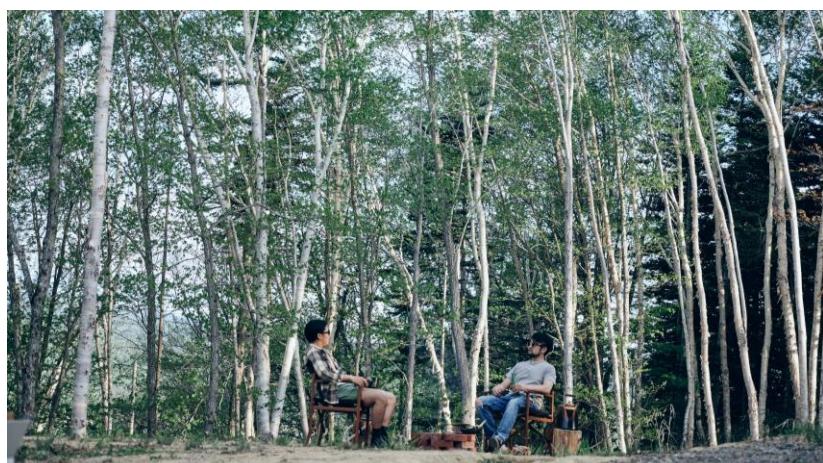
Mail：nakagawa-chiikishinko@town.nakagawa.Hokkaido.jp

〒098-2892 北海道中川郡中川町字中川337番地



北海道中川町

企業版
ふるさと納税



中川町は、北海道上川地方の最北部に位置する人口1,200人ほどの小さな町です。天塩山地と北見山地に挟まれた山間地域を流れる天塩川に沿って南北に拓けた自然豊かな町で、町面積のおよそ87%を森林が占めています。

近年は、森林文化の再生をテーマに、豊富な森林資源を活用した事業や、雄大な自然を体験できる観光振興に取り組んでいます。豊かな森の恵みを分け合いながら暮らす持続可能な地域社会を目指しています。また、こうした取り組みに惹かれて、地域おこし協力隊制度を活用した移住者が増えており、地域の方々と力を合わせて中川の自然の中で様々なことに挑戦しています。

企業版ふるさと納税って？

企業のみなさまが、寄附を通じて地方公共団体の行う地方創生の取り組みを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。実質的な起業の負担は約1割で中川町の地方創生に資するプロジェクトを応援できます。

■企業版ふるさと納税とは

法人関係税の約9割が税額控除の対象に！

寄附金額

3

3

3

1

■ 捐金算入

■ 税額控除

■ 税額控除（拡充分）

■ 法人負担

■企業のメリット

社会貢献
企業としてのPR効果
SDG'sの達成など

中川町との関係構築

新事業展開
地域資源や人材を生かした共同事業など

■制度の流れ

企業
寄附の検討・
申出

中川町
プロジェクト
の実施

企業
寄附金の払い
込み

中川町
領収書を交付

企業
税の申告

■留意事項

- 1回あたり10万円以上の寄付が対象になります。
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- 本社や主たる事業所が中川町内に存在する企業については、中川町に寄附をすることができません。

中川町の寄附募集メニュー

温泉・サウナを活用した 関係人口創出事業



募集金額 11億円
SDG's目標



老朽化が進むポンピラアクアリズティングを建て直し、温泉・サウナを核とした観光振興や関係人口の創出に取り組みます。隣接するナポートパークオートキャンプ場や既存施設の跡地利用（屋外サウナやイベント広場としての活用を検討しています）、食やヘルスツーリズムをテーマとした観光拠点の中核施設を整備します。

子どもたちの居場所創出事業



募集金額 2,000万円
SDG's目標



中川町では、総合計画や総合戦略策定時に、様々な町民アンケートを通じて、多くの保護者や子どもたちから「公園に遊具が欲しい！」「雨の日に子どもと行く場所がない」などの声が届けられています。子どもや保護者のみなさまの声を聴き、一緒に公園や遊び場、居場所づくりを進めていくことで、住む町への愛着を育みます。

北海道大学研究林北管理部 包括連携事業



募集金額 600万円
SDG's目標



森林管理や林業振興、木材生産や利用、森や環境に関する人材育成、北大中川研究林公認ガイドプログラムの開発など、北海道大学研究林北管理部と中川町が締結する包括連携協定の推進のためのプロジェクトです。

水辺の小さな自然再生など研究林フィールドの保全に加え、オニグルミ、チシマザサ、ヤナギなどの自然素材の活用の研究も進めています。

奥道北構想構築事業



募集金額 5,000万円
SDG's目標



中川町と音威子府村が、北海道北部の魅力を世界へ発信していくためのプロジェクト。森や川を舞台にしたアクティビティ開拓、食や文化を生かした新しい体験づくり、木工やクラフトを通じたものづくりなどを進めるほか、中川町内に来訪者と地域住民が交じり合う交流拠点の整備を進めます。また、拠点を核とした地方と都市の融合による事業化に取り組みます。

農産加工物開発事業



募集金額 5,000万円
SDG's目標



中川町の豊かな大地が生み出す生乳、アスパラ、カボチャ、小豆、畜肉などの農産物を加工し、一次産業に根差した地域振興を図るプロジェクトです。

生乳を原料としたチーズやバター、カボチャや小豆の一次加工や商品開発、牛肉や羊肉の生産体制や流通体制整備など、中川町の魅力を最大原価値に変えていく取組です。

日本大学文理学部 包括連携事業



募集金額 600万円
SDG's目標



日本大学文理学部と中川町が締結する包括連携協定の推進のためのプロジェクトです。日大文理学部内に設置された「ナカガワのナカガワ日大店」の充実や、日大文理学部生を対象とした中川町内でのインターンシップの受け入れ支援、中川町をフィールドとした地域実習や地域研究の支援（まちづくり研究助成）などの取り組みを進めています。